第13回スマートグリッド特別研究グループ　議事録

【日 時】平成24年10月5日（木）13：30～16：30

【場 所 】電気学会　会議室

【出席者】仁田旦三(主査・元会長),山本俊二(幹事・元副会長),北山匡史(委員・B部門),
小林武則(委員・B部門), 芹澤善積(委員・C部門), 森直子(委員・C部門), 川上紀子(委員・D部門),
舟橋俊久(委員・D部門), 佐々木実(委員・E部門), 柴﨑一郎(委員・E部門), 山岡和雄(委員・
電気規格調査会), 里周二（宇都宮大学）,沖健志朗(標準化推進室),田中康治（標準化推進室）

【配付資料】

（資料 SG-13-1）　第 12 回ｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ特別研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ議事録（案）
（資料 SG-13-2）　ICT活用の現状とｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ
（資料 SG-13-3）　第二回ﾏｲｸﾛ・ﾅﾉ産業化ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ
（資料 SG-13-4）　ｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞに関するC部門活動のｷｰﾜｰﾄﾞ分類
（資料 SG-13-5）　産業応用ﾌｫｰﾗﾑ開催の案内
（資料 SG-13-6）　ｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ委員会で列挙されたｷｰﾜｰﾄﾞでの分類：D部門
（資料 SG-13-7）　部門のｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ関連委員会がどのｷｰﾜｰﾄﾞを基に設立されているか
（資料 SG-13-8）　Non-contact Voltage Measurement Using Micro-Resonator
（資料 SG-13-9）　平成 25 年電気学会全国大会ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（案）提案用紙

【議事】

１．主査挨拶

仁田主査より、スマートグリッド活動最終年に当たり、全体を纏め上げることを念頭に活動を推進していきたいとの開会挨拶があった。

２．第12回議事録確認（資料SG-13-1）

山本幹事より、前回議事録（案）を説明、一部修正し承認された。

３．最終年の運営（資料 SG-13-2）

電力分野における ICT 活用の現状と、スマートグリッドとの関係について主査より発題。スマートグリッドに関する電気学会内の研究につき分類し、現状と今後につき議論を進めることとした。
分類の考え方（キーワード）を以下 3 種類示す。

①電力技術の基本的考え方と研究開発の関係
〔環境性〕〔安定供給〕〔安全性〕〔経済性〕
②スマートグリッドの考え方と研究開発の関係
〔再生可能エネルギー利用〕〔ＩＣＴ活用〕〔省エネルギー〕
③〔システム〕〔機器・設備〕〔デバイス〕

４．他学会との交流促進（資料 SG-13-3）

電気学会・機械学会・応用物理学会共催・日本学術会議後援の、マイクロ・ナノ産業化シンポジウムで、仁田主査が招待講演を行い、この特別研究グループの活動の一部を報告することとなった（2012-10-22）

５．各部門の活動（資料 SG-13-4,5,6,7,8）

主査発題のキーワド分類に従い、各部門での活動について前回に続き、発題、議論した。
①部門のｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ関連委員会がどのキーワード（考え方）に関連しているか
②どのようなキーワードの、どのような委員会が更に必要か（何が不足しているか）
今回はC部門、D部門、E部門につき、議論した。

６．全国大会に向けて

電気学会全国大会（2013/3、名大）シンポジウムには、これまで 3 年間の内容を全て含め報告する。

７．次回委員会　2012/12/7（金）14：00－17：00　東京トラック事業健保会館　　以上